

県民の皆様へ新型コロナ感染予防をお願いします

4月16日から5月6日まで、本県を含む全国が緊急事態宣言の対象区域となりました。県民の皆様には、新型コロナウイルス感染症の予防のため、

- こまめな手洗いや手指の消毒をお願いします。
- マスクの着用や咳エチケットをお願いします。
- 不要不急の外出は避け、日常生活においても「三つの密」（密閉、密集、密接）を避けましょう。特に、繁華街の接客を伴う飲食店等への外出は控えるようにしましょう。
- 発熱、せき等の症状がある場合には、通勤、通学は控えましょう。
- 感染者が増大している大都市圏等との不要不急の往来は控えましょう。



正しい情報に基づき、落ちついた対応をお願いするとともに、新型コロナウイルス感染者やその関係の方への誤解や偏見に基づく差別は、行わないようにしましょう。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご協力をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症に関する情報は、政府の情報：内閣官房「新型コロナウイルス感染症対策」<https://corona.go.jp/>、福島県の情報：福島県「新型コロナウイルス感染症対策サイト」<https://fukushima-covid19.web.app/>、お住まいの市町村のホームページなどをご覧ください。

福島を未来へつなぐ復興・創生予算を可決！ 総額1兆4,418億円

福島県総合計画11の重点プロジェクト 822事業 6,446億円（再掲事業を含む）

1 人口減少・高齢化対策プロジェクト 284事業 615億円	ふるさとで働く
2 避難地域の復興・再生	7 農林水産業再生プロジェクト 77事業 700億円
3 避難地域等復興加速化プロジェクト 62事業 435億円	8 中小企業等復興プロジェクト 41事業 875億円
4 安心して住み、暮らす	9 新産業創造プロジェクト 33事業 288億円
5 生活再建支援プロジェクト 34事業 238億円	まちをつくり、人とつながる
6 環境回復プロジェクト 33事業 994億円	10 風評・風化対策プロジェクト 61事業 136億円
7 心身の健康を守るプロジェクト 55事業 214億円	11 復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト 36事業 1,763億円
8 子ども・若者育成プロジェクト 106事業 187億円	

詳しくは、福島県財政課ホームページをご覧ください。 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115b/>



福祉公安委員会での議案審査の様子

議員提案案例「子どもを虐待から守る条例」を可決
全国的に大きな社会問題となっている「児童虐待」について、県議会では子どもたちを虐待の危険から守る条例を作ろうと昨年から各会派議員10名から成る検討会を設置し、県民の意見を取り入れながら案を取りまとめ、2月21日に議長に報告書を提出した。3月13日には所管する福祉公安委員会伊藤達也委員長による審査19日の本会議で委員報告後、採決が行われ、条例は全員一致で可決された。



農林水産委員会現地調査

常任委員会が審査、現地調査を実施
6常任委員会が所管する部局等に係る議案の審査及び一般事項に関する質疑を行った。
農林水産委員会（先崎温容委員長）は、3月12日、台風第19号等により被災した木戸川漁業組合など農林水産業関連施設を現地調査した。



政務活動費検討会の議長報告

政務活動費の減額を決定
2月28日、政務活動費検討会（満山喜二委員長）が令和2年度からの政務活動費交付額について議長報告を行った。



特別委員会の中間報告

3特別委員会を開催
3月16日、18日の両日に総括審査会鈴木智智委員長を開催し、各会派から10名の委員が復興・創生期間の最終年度に向けた施策や、台風第19号等災害や新型コロナウイルス対策の対応等について執行部の取組を聴いた。



政務活動費研修会



議員勉強会

政務活動費研修会を開催
3月18日、議員会派職員等を対象とした政務活動費研修会を開催し、収支報告書を作成する際の留意点などについて研修した。

新型コロナウイルス感染症 緊急対応策関連補正予算を議決

3月19日の議会最終日に、国が示した新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策を踏まえ、個人向け緊急小口資金の特例貸付、社会福祉施設や幼稚園のマスク等対策、医療機関における受入環境の整備、県立学校の臨時休業に伴う給食費の負担などに要する経費などを内容とした令和元年度一般会計補正予算（第8号）を審査、議決しました。

**一般会計補正予算額（第8号）4億6,100万円
（元年度予算累計額 1兆5,157億3,900万円）**

（内訳）

- 生活福祉資金貸付等補助事業 2億9,700万円**
（生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付の原資等を補助）
- 社会福祉施設や幼稚園のマスク等対策 1億1,122万円**
（社会福祉施設や幼稚園にマスクや消毒液を直接配布し感染拡大を防止）
- 新型コロナウイルス緊急対策事業（医療施設） 4,857万円**
（医療機関での感染患者の受入環境整備や入院患者の医療費一部負担）
- 新型コロナウイルス緊急対策事業（検査体制） 109万円**
（衛生研究所に検査機器を整備し検査体制を強化）
- 学校臨時休業給食対策事業 299万円**
（県立学校の臨時休業中における学校給食費の食材費を負担）

新型コロナウイルス感染症に対する主な質疑

- 質疑** 県民が冷静な行動をとるため、新型コロナウイルス感染症の情報をどのように発信しているのか。
答弁 新型コロナウイルスの情報は、様々な内容が様々な手段で流れており、その中から正しい情報を選別することが重要である。正しい情報を迅速に提供するとともに、県民が国や県等が発信する正確な情報に基づき、冷静に対応し、根拠のない情報に惑わされることのないよう、しっかり取り組んでいく。

2月定例会では、知事提出議案として、復興・創生分504.3億円を含め総額1兆441.8億円に上る令和2年度一般会計予算などの予算に関する議案32件、「福島県行政財産使用料条例の一部を改正する条例」など条例に関する議案28件、「包括外部監査契約について」などその他の議案34件、議員提出議案として、「福島県子どもを虐待から守る条例」など5件、請願1件をそれぞれ可決・同意採択しました。



県議会ふくしま

第81号
企画・編集
福島県議会
広報委員会

〈広告〉



ふくしまからはじめよう。

定例会での主な質疑

当初予算編成

質疑 令和2年度当初予算をどのように考へて編成したのか。
答弁 台風等による災害からの一日も早い復旧に向け、切れ目なく取り組むとともに、復興・創生期間の最終年度として、震災原動力災害からの復興と地方創生を両輪で進め、多岐にわたる編成した。施策を積極的に推進し、県民が復興を実感し、夢や希望が未来につながる笑顔あふれる福島を築き上げていく。

新たな総合計画の策定

質疑 新たな総合計画について、県民が夢や希望を持つよう策定すべきと思うが、知事の考えを尋ねる。
答弁 福島に生まれ、育ち、暮らすことを誇り、それが主役となる復興を支える。近未来の復興を支える。福島一人一人の思いを大切に、新たな総合計画の基盤となる考え方を握り、みんなが創り上げる福島の未来を理想を描いていく。

医療福祉の充実

質疑 県民の健康データを活用した健康づくりなどのように取り組んでいくのか。
答弁 県版健康データベースを構築し、令和元年度内に二次医療圏別の脳梗塞や糖尿病等の生活習慣病発生の傾向などを公表する。今後は、市町村特有の健康課題を解析し、科学的根拠に基づいた助言等を行うほか、民間企業のノウハウを活用し、実効的かつ意欲的な取組を積極的に支援するなど、地域の特徴に応じた健康づくりに取り組む。

農業の成長産業化

質疑 新しい技術を用いた本県農業の成長産業化にどのように取り組んでいくのか。
答弁 大学、1人機械メーカー等と連携しながら、様々な先端技術の開発に引き続き取り組むことも努めていく。

県立高校における主権者教育

質疑 県教育委員会は、県立高校における主権者教育にどのように取り組んでいくのか。
答弁 社会に参画する意欲や態度を育てることが大切であると考える。自治体と連携し、高校生が政策提言を行う地域課題探求型学習の推進や、高校への期日前投票所の設置等により、地域社会の一員としての当事者意識を高めており、今後ともも更に努めていく。

総括審査会を2日間開催

3月17日、18日の両日に総括審査会鈴木智智委員長を開催し、各会派から10名の委員が復興・創生期間の最終年度に向けた施策や、台風第19号等災害や新型コロナウイルス対策の対応等について執行部の取組を聴いた。

議員勉強会を開催

2月26日、議員勉強会を開催し、福島市在住でエアレックスパレットの室屋義秀氏を講師に迎え、福島から世界へをテーマに、世界を舞台に活躍できる人材の育成や航空産業の発展による地域の活性化について学んだ。

可決した国への意見書
（意見書は令和2年3月19日、国へ提出）

- トリチウム水の処分方法については、当県の幅広い関係者から丁寧に意見を聴取するとともに、新たな風評を助長しないよう風評対策の拡充・強化と併せて示すことを求める意見書
- 中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書
- 令和元年台風第19号等により被災した大企業への支援の強化を求める意見書

採択した請願
（意見書、決議を求めるものを除く）

- 県立高等学校改革における田島・南会津統合校の方向性についての実態把握と地域協議を求めることについて

お知らせ

- ◆令和2年6月定例会は、6月23日（火）開会の予定です。本定例会より、インターネット中継に手話通訳の映像が挿入される予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL: (024) 521-7608 FAX: (024) 521-7965
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆詳しい情報は → [福島県議会](#)

